

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902500	事業の開始年月日	平成16年12月1日	
		指定年月日	平成16年12月1日	
法人名	株式会社 スマイル			
事業所名	スマイル住まいの横須賀大矢部			
所在地	( 238-0024 ) 神奈川県横須賀市大矢部3-18-5			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成23年1月17日	評価結果 市町村受理日	平成23年5月16日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471902500&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471902500&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

誰が来ても気持ちのいい接客を心掛け、また来たいと思えるようなホームにしたいです。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ'双ファースト 3階		
訪問調査日	平成23年2月23日	評価機関 評価決定日	平成23年4月13日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>グループホームへのアクセスは、京急北久里浜駅またはYRP野比駅よりバスで約10分の、幹線道路から少し入った静かな住宅地にあります。利用者と歩いていける近隣には、公園や商店、レストラン、スーパーマーケットなどがあります。</p> <p>&lt;事業所の優れている点&gt;</p> <p>職員はサービス従事者としての自覚が深く、利用者への尊厳の念は勿論、家族や来訪者にも心休まる暖かいマナーで対応することを心掛けています。サービス計画書(1)には、食事、排泄、入浴、活動など10項目にわたる総合的な援助方針を立てています。毎月のカンファレンスやモニタリングでは、この10項目について、サービスの提供状況やその評価などの意見交換が行われ、利用者の現状に即した介護計画につなげています。連続性と継続性を重視した作り方で、家族には利用者の状況変化が良く判る計画になっていると思います。</p> <p>&lt;事業所の工夫している点&gt;</p> <p>家族への利用者に関する情報の提供は、非常にこまめに行われています。職員手作りのスマイル便りが月1回発行され、家族の来訪時には口頭でクリニック情報や最近の様子などが伝達されています。また利用者ごとの1ヶ分15ページにもなる「生活の記録」を家族へ送り、生活状況が報告されています。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	1

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>理念に基づく運営</b>						
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームでの行事（バーベキュー・避難訓練）を行う時には近隣の方に連絡し共有と実践を行っている。	利用者をお客様と呼称し、利用者本位の施設づくりを目指しています。「お客様にとって居心地のよい生活が送れるように支援します」以下5項目からなる施設独自の理念を2年前に定め、この理念の実現を目指して、職員一同で努力しています。		
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校の運動会・フェスティバルに招待されたり、ホームへ来所しお客様と交流を図っています。また体験学習の受け入れもおこなっております。	できるところから始めており、現在は地元の小・中学校との交流が進んでいます。学校側から運動会やフェスティバルに招待され、施設側から体験学習の受け入れを行っています。近所の人々と挨拶を交わし、親しみのもてる施設になることをめざしています。	町内会への入会を申請していますが、まだ実現していません。地域密着型サービスの意義をふまえ、市役所の担当部署や民生委員の協力を得て、加入への働きかけを積極的に行うことが期待されます。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の小学校へ行き認知症について児童へ話したり、地域包括・町内会の方ともそのような場を持つ機会がありました。また、近隣のスーパーへ買い物に行き顔馴染みになり挨拶を交わしています。			
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	指摘事項があつた場合は話し合い改善にむけての努力をしています。	年に6回開催され、メンバーは職員、利用者および民生委員2名が常時出席しています。市の担当者にも都度連絡はとりませんが、参加を得られず、町内会役員や家族の出席も実現していません。今後も根気強く参加を呼びかけて行く予定です。	運営推進会議の運営方針や目的を明確にして、利用者の家族を始め、行政や地域包括支援センター職員及び地域代表に説明し、運営推進会議への参加を求めるなど、会議体の体制整備が期待されます。	
5	4	<b>市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告書等は書面にてお知らせし、実情の取り組みなど連絡をとっています。	市役所の担当者とは、事故報告書を提出したり、グループホームの空き情報の連絡を受けたりする際に接触しています。担当者を訪ねて、具体的な相談をすることが少ないため、今後は定期的に訪問して、直接話をする機会を増やす予定です。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯以外常にかいており、どなたでも気軽に来られる状態であり、散歩にも行っています。ホーム内でも個々のペースに合わせて過ごせるようにしています。	ご入居のしおりに「身体拘束その他利用者の自由を制限しません」と明記、運営規定と利用契約書にも同様の趣旨の条文があり、職員の研修も実施しています。転倒の危険性を理由に、家族の了解を得て一部の居室に人感センサーを設置しています。	居室のガラス戸の施錠については、拘束廃止と災害時の避難経路や方法の観点から、そのあり方について再検討が期待されます。
7		<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ちいさな変化にも気づくよう観察をしており、何かあった時はすぐ気づけるようにしています。		
8		<b>権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各々で理解し分からない事はきき学んでおります。		
9		<b>契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様・ご家族の方からの疑問や不安の声に耳を傾けその都度話し合いを行っています。		
10	6	<b>運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様・ご家族の方がいつでも気軽に話し掛けられるような雰囲気作りをしています。	利用者の家族と職員の間には、気軽に話し合える雰囲気が作られています。職員は、積極的に利用者情報を伝え、意見や要望も聴いています。法人でも、独自のアンケートで家族から意見を求め、結果を統計的に取りまとめて運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で話し合うようにしています。	月一回のミーティングや日常業務の中で、改善などについて話し合っています。中庭のウッドデッキの製作や回廊スペースに図書棚を設置するアイデアなど、職員の提案が採用されています。今回の自己評価にも職員の意見が反映されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人と面談をしそこで話しあっています。それぞれのフロアミーティングもあるのでそこでも話し合い向上心を持てるようにしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の参加は回覧しスタッフに周知している。研修に出られそうなスタッフには直接声をかけ参加を促しています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修や近隣のグループホームの方と話し合う機会を作っていただき参加している。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前からご家族等へ困っていること不安な事を聞きすこしでも安心して生活できるようお手伝いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりにも努めている	入居される前からご家族等へ困っていること不安な事を聞きホームでの過ごし方を聞いている。それに対しこちらの対応方法を考えています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居されると全スタッフがその方の日々の生活を観察し問題点を共有できるよう意見交換・行動の把握に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様のADL、趣味、特技等を理解した上で出来る事をして頂き残存能力を活かしながら共同生活をしている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活の記録を送ったり電話で直接お話して情報の提供しています。行事にはご家族にも声を掛け参加して頂きご家族も一緒に楽しめる機会を設けている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室には今まで使用していた家具や布団を持ってきて頂き、今まで生活していた様式に近いようにしている。またいつでもご家族や知人の方が来所出来るようにしている。	馴染みの情報は、入居申込書の生活歴や家族との会話の中で把握するように努めています。時折訪ねて来られる利用者のお友達が職員と顔馴染みになり、いつでも気安く訪ねて来られるような関係が築かれるなど、馴染みの関係支援に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士の相性などを考慮しDルームでの座席の位置を決め孤立しないよう配慮しています。関係に変化があった場合は話し合いをし、いい状況になるよう努めています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ入居が決まった場合はその施設へ面会に行ったり必要に応じ情報を提供しています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時にご家族やご本人様の意見、意向を伺いそれに添えるように努めている。	入居時に、利用者の思いや意向を確認していますが、入居後も日々の会話や表情から把握することに努めています。把握した情報は、毎月のモニタリングで話し合い職員間で共有を図り、利用者の意向に添った生活支援に努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	お客様の生活歴を入居時ご家族から伺ったり、入居されてからご本人様と話しをしている中で聞き出し記録を取り全スタッフが把握できるようにしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お客様の日々の暮らしに変化が無いが等常に気を配り見ている。また、訪問看護師の方にも変化があった場合は相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	月に一度参加出来るスタッフが参加しカンファレンスを行い一人一人の状況の変化、様子につき話し合いをしている。参加出来なかったスタッフには回覧をしている。またご家族へも面会時話を伺うようにしています。	サービス計画書には、食事、排泄、入浴、活動など10項目にわたる総合的な援助方針が立案されています。毎月のカンファレンスやモニタリングでは、この項目に視点を合わせて意見交換が行われ、利用者の現状に即した介護計画を作成しています。	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	日々の様子で変化あった場合はそのときいるスタッフ間で話したり申し送って情報の共有をしています。また、月に一度のカンファレンスで検討、見直しをしています。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	出来る事、出来ない事をそれぞれのスタッフが見極めお客様にあった支援をしています。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	一人一人の力量を把握し役割事を決め本人も楽しみながら日々生活を送れるようにしています。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居時にご家族等と話し合い主治医を決めて頂いています。何かあった場合には相談に乗って下さったり、24時間いつでも連絡がとれる状態で必要な支援が受けられます。	かかりつけ医の選択は、利用者や家族の意向を優先しています。現在は4名の方が入居前からの主治医をかかりつけ医として受診診断をつけています。協力医以外の受診の場合には、家族に送迎や付き添いをお願いしています。	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	お客様の体調、様子の変化が見られた時は訪問看護師等に連絡を取り適切な処置が受けられるようにしています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合面会に行き話を伺ったり、電話にてお客様の状態、状況を聞いています。サマリー等の作成をし双方で情報が共有出来るようにしています。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	お客様、ご家族の意見を聞き入れ、主治医、スタッフ等と話し合いその方にとっていい方法で話を進めています。スタッフが情報を共有出来るよう回覧しています。また主治医に来て頂き勉強会を開催してもらいました。	医療連携体制や看取り介護の加算が認められています。重度化や終末期介護の方針は、法人の対応指針で明確にされています。利用者の家族とは、看取り介護に関する同意書の取り交わしも行われています。職員は、協力医の指導を受けています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	C R P（心肺蘇生法）の訓練を毎朝朝礼時に行っている。また、社内で救急救命の講習会があり参加出来るスタッフは参加し出来なかったスタッフには回覧している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い、お客様、消防署の方にも声を掛け参加して頂いている。近隣の方にも声を掛け周知すると共に出来たら参加して頂けないかと声を掛けさせていただきました。	消防避難訓練は、消防署立会いの下で実施しています。今年度の1回目の訓練は、夜間想定で初期消火及び通報、避難訓練を行っています。利用者全員の避難時間も測定しています。自動火災通報装置やスプリンクラーなどが設置されています。	訓練後の反省会で、前回と同じ内容の反省が記録されています。問題点を問題点で終わらせることなく、必ず改善対策を検討、実施されることが期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様を敬うよう丁寧な言葉使いをしていくよう努めています。	職員は、サービス業に従事の自覚が深く、利用者に対する言動には、尊厳の念を込めた接遇を心掛けています。利用者の日頃の身だしなみにもプライドを損ねない支援をしています。個人情報の使用に関しては、家族と同意書を取り交わしています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様の意思が尊重出来るような声掛けをしたり、お手伝いをさせて頂いています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを尊重しつつも昼夜逆転を防ぐよう昼間の休息時間をこちら側で決めてしまっている部分はあります。希望はお聞きしつつ日中を過ごして頂いています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみが保てるよう声掛け見守りで支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを尊重し苦手な物の場合その方には違うものの対応をしています。食事の準備等も出来る方には声を掛けさせて頂きお手伝いしてもらっています。	献立は、各階がそれぞれで計画しています。利用者の希望を聞く場合には、漠然と何が食べたいかを聴くのではなく、提供可能な料理の名前を言って選んで貰う択一方式を採っています。食事の評判も良く、利用者や家族に喜ばれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様一人一人に合わせ摂取して頂いたり、状態を把握し行っている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	お客様に合った方法で口腔ケアを行って頂いています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様の状態により、声掛けしトイレ誘導をおこなったりしています。	利用者に自信を持って貰い、オムツやリハビリパンツに頼らない排泄の自立化への支援に取り組んでいます。排泄チェック表には、水分摂取の時間と量を記録し、誘導タイミングのデータとしています。失禁の場合も記号で記入し成果の評価をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じ、便秘に効きそうな物を摂取して頂いている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	お客様のペースに合わせて入浴して頂いている。また、ゆず湯、菖蒲湯等の季節感を味わって頂くようにしている。	入浴は、一日置きが基本ですが、毎日お風呂を沸かし、個々の希望に応じられるようにしています。総檜のお風呂や更衣室の床暖房など、入浴を楽しむ環境が作られています。将来を見据えた、重度化に対応するリフト入浴機器も準備されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の状態に合わせ、安心して眠れるよう不安なお客様には声掛けを少しでも安心して休息出来るようにしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の状態の変化等に気が付くように常に様子観察や見守りをしています。状態によっては主治医、訪問看護師へ連絡、相談しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴や楽しみ事の希望に添えるように外出等しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お客様の希望に添えるように外出支援をしています。ご家族に連絡し一緒に行く事もあります。	毎日、20分程度の散歩をしたり、近くのスーパーへ食材の買出しに職員に同行しています。また、預かり金制度で金銭管理の支援を行っており、お金を持って日用品などの買い物にも行きます。月に1度近所のレストランなどで外食を楽しみます。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お客様の希望によりお金を持って頂きお買い物に行かれる事もあります。その方に合わせた対応に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望するお客様にはご本人自ら電話をして頂き、またお手紙を出されるお客様には必要な援助をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節にあったお花を植えたり、活けたりしています。お客様の混乱を少しでも防げるような対応に努めています。	各階の玄関には、それぞれ下駄箱や腰掛椅子が設置され、一般家庭の雰囲気を作っています。廊下は、中庭を取巻く回廊式で、利用者の館内での生活リハビリを容易にしています。定期購読の新聞や本棚の本を、自由に読む環境も作られています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お客様が好きな時に好きな所へ行けるようにしており、フロアーや廊下には椅子やソファも置いてあり個々に過ごせるようになっています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家庭で使用していた物を持って来て頂き、自宅に居た時と同じ環境にして頂いています。	居室内の飾り付けや持ち込み品の配置は、グループホームでの生活を、自宅生活の延長線上に置いて考えています。使い慣れた机やタンスなども持ち込まれ、上に額入りの家族の写真を飾るなどして、自宅生活を偲ばせる環境作りを図っています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事を把握し、家事、掃除、炊事等お手伝いして頂いています。		

平成22年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471902500	事業の開始年月日	平成16年12月1日
		指定年月日	平成16年12月1日
法人名	株式会社 スマイル		
事業所名	スマイル住まいの横須賀大矢部		
所在地	( 238-0024 ) 神奈川県横須賀市大矢部3-18-5		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成23年1月17日	評価結果 市町村受理日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471902500&SCD=320>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

誰が来ても気持ちのいい接客を心掛け、また来たいと思えるようなホームにしたい。月に1回は外出する機会を作り、日頃の様子、外出の時の様子をスマイル便りに載せてご家族へ配布しています。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ケ'ダブルファースト 3階		
訪問調査日	平成23年2月23日	評価機関 評価決定日	平成23年4月13日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	スマイル住まいる横須賀大矢部
ユニット名	2

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所独自の理念を作り掲示する等して実践に心掛けている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域の小・中学校との交流はありますが地域住民との交流はこれから図っていきます。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域包括、町内会、近隣のグループホームの方と話す機会はありましたが十分に活かしている状態ではありません。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>指摘事項があった場合には話し合いをし改善に向けて取り組んでいます。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>報告書等は書面にてお知らせし実情の取組みなど連絡をとっています。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>高齢者虐待防止法に関する資料を回覧し周知を図っている。身体拘束にあたる行為は行っておらず、夜間のみ防犯のため施錠を行っている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料を回覧しスタッフに周知を図っており注意を心掛けています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>十分とは言えず、これから機会があったら学んでいきます。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に家族へ説明同意を行っている。お客様には分かり答えられる範囲内で行っています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>外部評価の他に会社独自でご家族へアンケートを送り集計し結果を回覧している。必要に応じ話し合いを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング等で話し合う様にしています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々責任感を持ち業務に取り組むよう努力をしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内での研修など受ける機会がありますがなかなか受けられていない状況です。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームの管理者があまり話す機会を作っております。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様一人一人の意見を伺いなるべくその要望に答えられるよう努力しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時ご家族等に話を伺い、要望など聞いております。入居してからも記録につけスタッフに周知しています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、お客様に話を伺い様子観察をし何が必要かを見極め支援しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事出来ない事を見極め出来る事をして頂きながら共同生活を送っています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の生活の様子を送ったり、電話等で直接話して頂き情報の共有を図っている。また面会時状況を話しご家族にも協力をして頂いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙のやり取りや電話にて直接ご本人様と話が出来ない方でもスタッフが間に入り現状を話す事もありました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様一人一人の状況を把握し孤立しないよう座席の位置など決めていきます。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設などに行かれた場合はサマリーを渡したり必要に応じ連絡を取っている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の意見・要望を出来る限り受け入れ希望に添えるようにしています。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の記録に目を通し、生活歴や今までの暮らし方、個々での様子を観察し把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、1日の過ごし方を把握し安心して過ごせる様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>月1度カンファレンスを行いお客様の現状について話をしています。面会時ご家族にも話を伺うようにしています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子を記録に残し何か変わった事があれば経過記録に書いて残していますし、連絡ノートにも記入しています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>出来る事、出来ない事を把握し出来る事は行って頂き残存能力を活かすよう支援しています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人一人持っている力を発揮出来るように努め安心して暮らせるように努めています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>契約時にご家族と話しをし主治医を決めて頂き何かあった場合には主治医と連絡を取れるような関係を築けるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何か変化あった場合は常に連絡を取りケアに取り組み密な関係を築けるよう心掛けています。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には病院側、ご家族と連絡を取り情報の共有を図っている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご家族、主治医と話し合う場を作り支援出来るように努めていきます。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎朝の朝礼時にCPR（心肺蘇生法）を実施しています。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災に備えた避難訓練を年に3回ほど実施しています。消防署の方にも来て頂き消火器の使い方の指導もして頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	自尊心を尊重し、お客様を敬う気持ちを持ち声掛けを行って行けるよう努めております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中でお客様の思いや表情や言動を見て組み取れるよう努力しております。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様一人一人の1日の様子を把握し希望の活動が出来るよう努めています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様一人一人に合わせた身だしなみおしゃれを支援しています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には日々の食事の準備や片付けをして頂いております。他状況を見て行っていただけそうな方には声掛けしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分チェック表を使い水分量の把握に努めている。足りない方には個人的に水分を摂って頂いております。		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	ご自分で行える方には声掛けを行い困難な方には見守り、介助にて行い清潔の保持に努めています。		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	排泄チェック表をつけトイレの間隔を見て声掛けしトイレ誘導を行いトイレでの排泄を促しています。		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	水分量や乳製品を摂って頂き予防、排便コントロールをしています。		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	個々の希望に応じ対応しています。また、冬至にはゆず湯にするなどの工夫も取り入れています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様一人一人を尊重し安心して過ごせるよう支援しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の目的や状況の変化に気が付けるよう日々観察を行い支援しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状態に合わせた役割や支援に努めています。また、買い物、散歩以外に月1度は外出する機会を作るよう努力しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族にも協力して頂き、外食・外泊をするお客様もいます。地域の方と何処かへ行く事は今の所行っておりませんが地域の方にも協力が得られるよう努めて行きたいと思えます。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の力量に合わせ、ご家族の協力も得て個人的にお金を持たれているかたもおります。また、希望に応じ出来ない部分に関してはお手伝いさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お客様の要望に応じ答えられるようにしています。電話を掛けたいというお客様には電話をお貸ししたり手紙・年賀状を出しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わって頂くようフロアの飾りつけを行い混乱を招いてしまった場合でも声掛けを行い安心して生活が送れるよう支援しています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人が居室以外にも個々に過ごせるようソファや椅子が廊下・フロアに置いてあり思い思いに過ごせる空間があります。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約時に御家庭で使っている物をお持ちしていただけるよう話をしており少しでも環境の変化を押しえられるよう努力しご家族へも協力して頂いております。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の出来る事を把握し安心して過ごして頂けるよう見守り、お手伝いをさせて頂いています。		

### 目標達成計画

作成日: 平成23年 5月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		活動面	活気のある生活	外に行く機会を増やす。(散歩・外出レク) 体操をしたりし体を動かす。中庭の活用。(お茶を飲んだり・レクをしたり) 月1程度1階・2階の流会を開くなど	3ヶ月
2		言葉使い	丁寧語を用いる。	全てにおいて丁寧な言葉を用いる。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。